



Ⅱ. 平成18年度中間決算状況

～松山の観光名所の一つ「萬翠荘」(ばんすいそう)～

平成18年度中間決算の特色

コア業務純益は5期連続で増加し中間期としては過去最高に

**本業の収益力
向上**

貸出金残高 3兆525億円、年間増加額 1,283億円、年間増加率 +4.4%
～平成9年3月期以降、9年連続で順調に残高増加～

預り資産残高年間1,116億円増加、年間増加率 +54.9%

信用コスト112億円(前年同期比+108億円)により最終減益

創立65周年を迎え、記念配当50銭を実施 ～年間配当7円50銭～

記念配当

不良債権比率が上昇するも、依然として高い健全性を維持

不良債権比率が3.12%に上昇 ～18年3月期比+0.63ポイント～

自己資本比率(国際統一基準・連結)は11.89%

有価証券評価益1,920億円

**依然として
高い健全性維持**

損益状況



コア業務純益は過去最高益を更新 信用コストの増加により減益

- ◇ コア業務純益 … 貸出金および有価証券運用の増強により、**中間期最高の175億円に**
- ◇ 中間純利益 … 一部大口先の業績悪化と一層厳格な自己査定の実施に伴う信用コスト増によって減益

平成18年度中間決算(単体)

(単位:百万円)

	17/9	18/9	前年同期比	
			増減額	増減率
業務粗利益	38,392	39,868	+ 1,476	+ 3.8%
資金利益	35,123	36,114	+ 991	
役務取引等利益	3,090	3,422	+ 332	
その他業務利益	178	331	+ 153	
(国債等債券関係損益)	(△ 248)	-	(+248)	
経費(△)	22,761	22,324	△ 437	△ 1.9%
人件費	12,371	12,003	△ 368	
物件費	8,959	8,874	△ 85	
税金	1,429	1,445	+ 16	
①一般貸倒引当金繰入額(△)	97	△ 3,803	△ 3,900	
業務純益	15,534	21,347	+ 5,813	+ 37.4%
コア業務純益(注)	15,880	17,543	+ 1,663	+ 10.5%
臨時損益	△ 281	△ 11,297	△ 11,016	
②不良債権処理額(△)	297	15,036	+ 14,739	
株式等関係損益	△ 12	3,228	+ 3,240	
その他の臨時損益	27	509	+ 482	
経常利益	15,253	10,049	△ 5,204	△ 34.1%
特別損益	859	781	△ 78	
うち減損損失	101	46	△ 55	
うち償却債権取立益	1,032	680	△ 352	
税引前中間純利益	16,112	10,830	△ 5,282	
中間純利益	10,040	6,760	△ 3,280	△ 32.7%
経常収益	44,332	51,018	+ 6,686	+ 15.1%
コア業務粗利益	38,641	39,868	+ 1,227	+ 3.2%

主な増減要因等(前年同期比)

業務粗利益 … 前年同期比+1,476百万円

- 資金利益 … 貸出金および有価証券運用の増強により増加
- 役務取引等利益 … 投資信託の販売が好調に推移したことにより増加

経費 … 前年同期比△437百万円

- ◇ 退職給付費用の減少等による人件費の減少
- ◇ 諸経費の削減に注力したことによる減少

コア業務純益 … 前年同期比+1,663百万円

5期連続の増益で中間期としては過去最高

信用コスト(①+②) … 11,233百万円(前年同期比+10,839百万円)

①一般貸倒引当金繰入額(前年同期比△3,900百万円)

38億円の戻し入れ

②不良債権処理額(前年同期比+14,739百万円)

- ◇ 一部大口先の業績悪化に伴い前倒しで引当を実施
- ◇ 一層厳格な自己査定を実施

記念配当50銭を実施

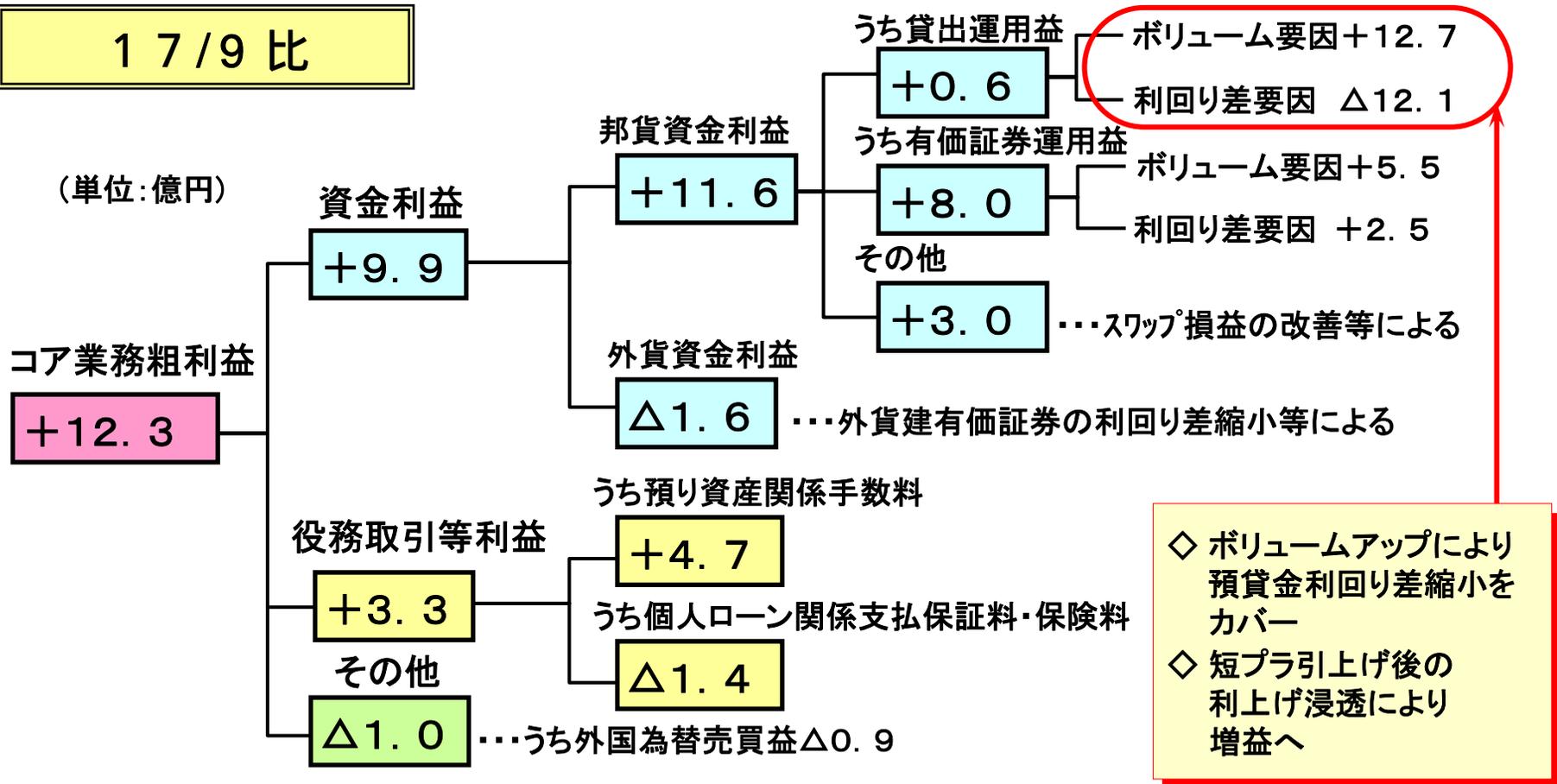
- ◇ 創立65周年を記念して記念配当を実施
- ◇ 年間配当は7円50銭に

(注)コア業務純益…債券関係損益を除く 一般貸倒引当金繰入前「業務純益」

18年度中間期 コア業務粗利益増減要因

- ◇ 邦貨資金利益 … 貸出・有価証券の運用増加および株式・投資信託の配当率向上により増益
- ◇ 外貨資金利益 … 調達利回り上昇による外貨建有価証券利回り差縮小により減益
- ◇ 役務取引等利益 … 投資信託窓販等の増強により増加

17/9 比



- ◇ ボリュウムアップにより預貸金利回り差縮小をカバー
- ◇ 短プラ引上げ後の利上げ浸透により増益へ

預貸金の状況



預金等残高 … 18/3期比微減ながら、預り資産との合計では順調に増加

貸出金残高 … 住宅ローンを中心とした個人融資や「新規開拓10,000先運動」により増加

19/3期に預金等残高・貸出金残高ともに年度ベース10年連続残高増加を目指す

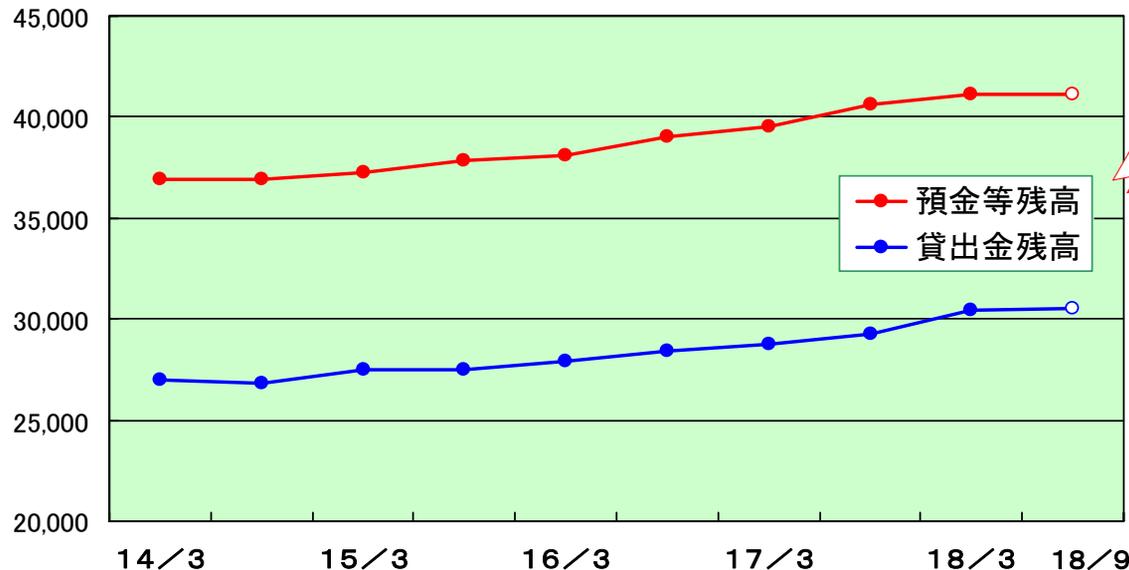
＜預貸金残高推移(単体)＞

(単位: 億円)

	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3		18/9		
					17/9		前年同月末比	前年比増加率	
預金等残高	36,885	37,256	38,066	39,545	40,657	41,154	41,141	+ 484	+ 1.2%
うち個人預金	25,231	25,744	25,980	26,532	26,676	26,668	26,852	+ 176	+ 0.7%
預金等+預り資産	37,149	37,713	38,972	41,148	42,690	43,833	44,290	+ 1,600	+ 3.7%
貸出金残高	26,979	27,488	27,896	28,782	29,242	30,421	30,525	+ 1,283	+ 4.4%
うち個人融資	5,948	6,449	6,937	7,300	7,492	7,771	7,999	+ 507	+ 6.8%

(億円)

＜預貸金残高推移＞



◆ 9/3期~18/3期 ◆
 年度ベースでは預貸金ともに
9年連続残高増加中
 19/3期には**10年連続**
 残高増加を目指す

開示不良債権の状況



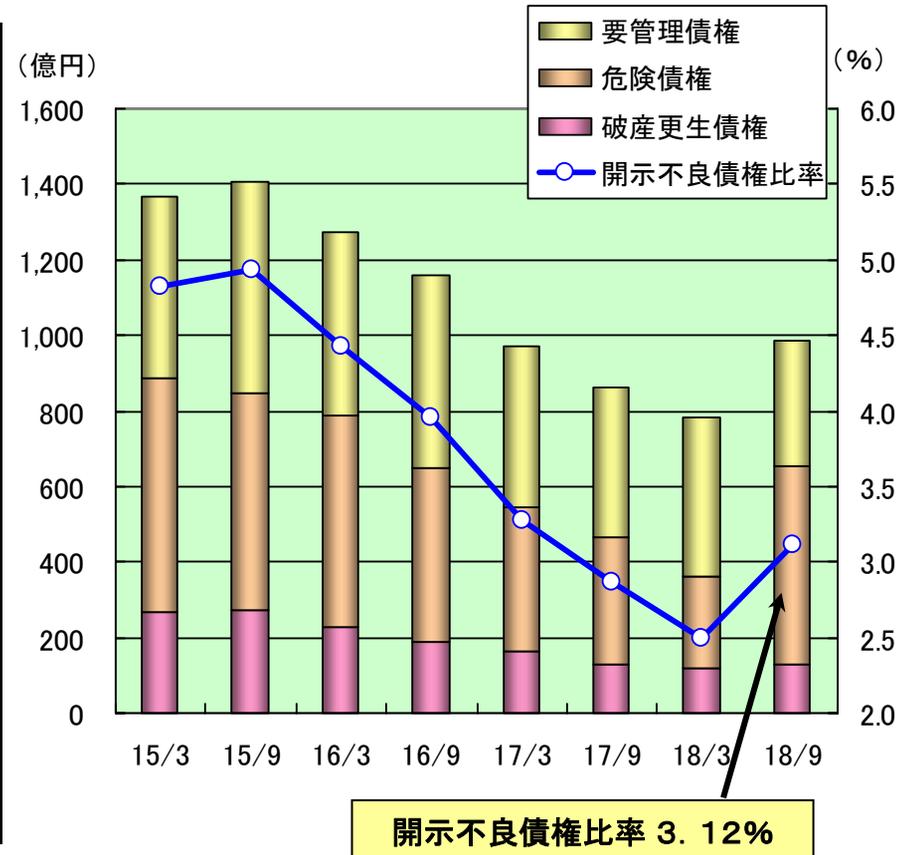
開示不良債権比率 … 一部大口先の業績悪化と一層厳格な自己査定を実施した結果、18/3比0.63ポイント上昇して3.12%に上昇

＜金融再生法開示基準による不良債権＞

(億円)

	17/9	18/3	18/9		
			18/3比	17/9比	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	131	119	131	12	0
危険債権	333	241	522	281	189
要管理債権	399	422	332	△ 90	△ 67
開示不良債権合計(A)	863	782	987	205	124
正常債権	29,228	30,561	30,575	+ 14	+ 1,347
合計	30,092	31,343	31,563	+ 220	+ 1,471
開示不良債権比率	2.87%	2.49%	3.12%	0.63%	0.25%
保全額(B)	758	658	806	+ 148	+ 48
貸倒引当金	312	258	325	+ 67	+ 13
担保保証等	446	399	480	+ 81	+ 34
保全率(B)／(A)	87.78%	84.08%	81.65%	△ 2.43%	△ 6.13%

＜開示債権額・比率推移＞



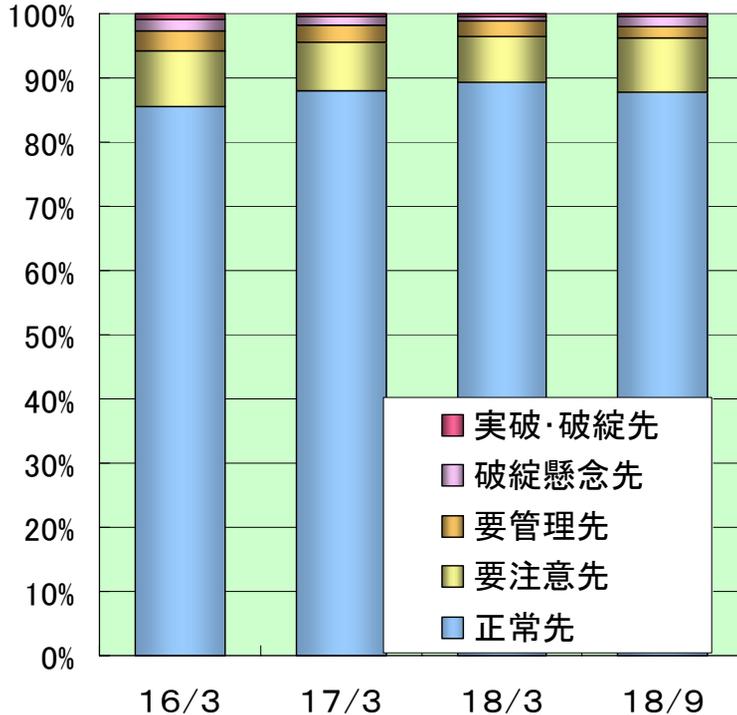
自己査定・要因別不良債権処理額



信用コストは一時的に増加したものの、今後は安定化へ

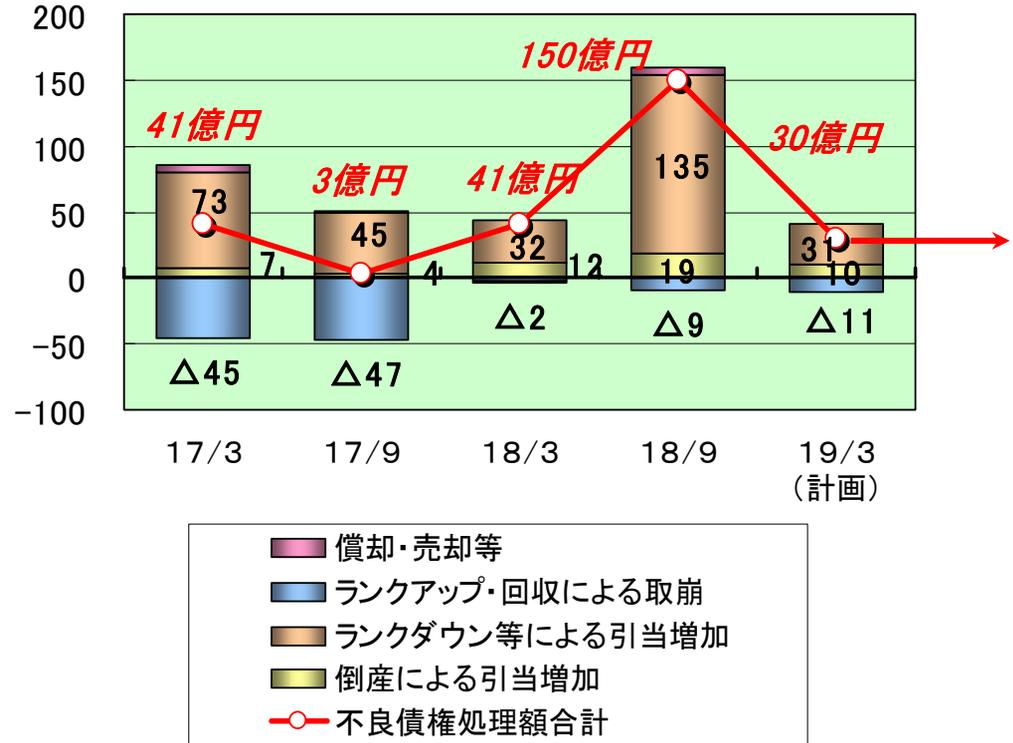
◇ 18/9月期は信用コストが増加し、要注意先以下の比率も上昇したものの、今後の信用コストは中計策定当初の計画水準で推移する見込み

自己査定区別構成比推移<債権額ベース>



処理額 (億円)

要因別不良債権処理額推移<半期ベース>



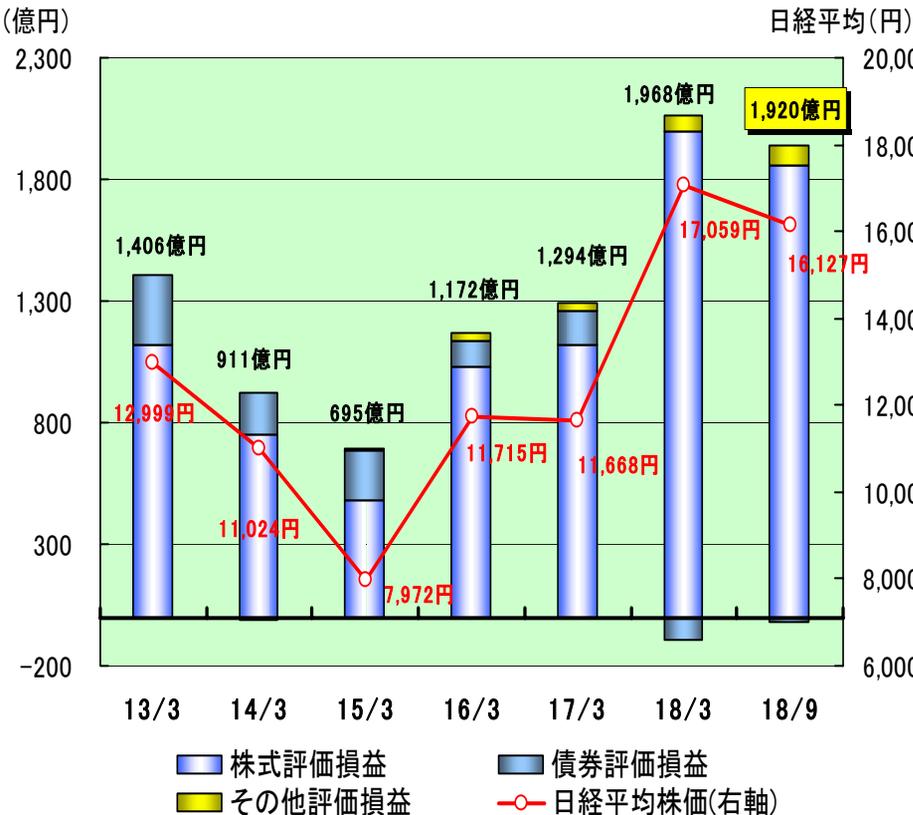
有価証券評価益および自己資本比率の状況



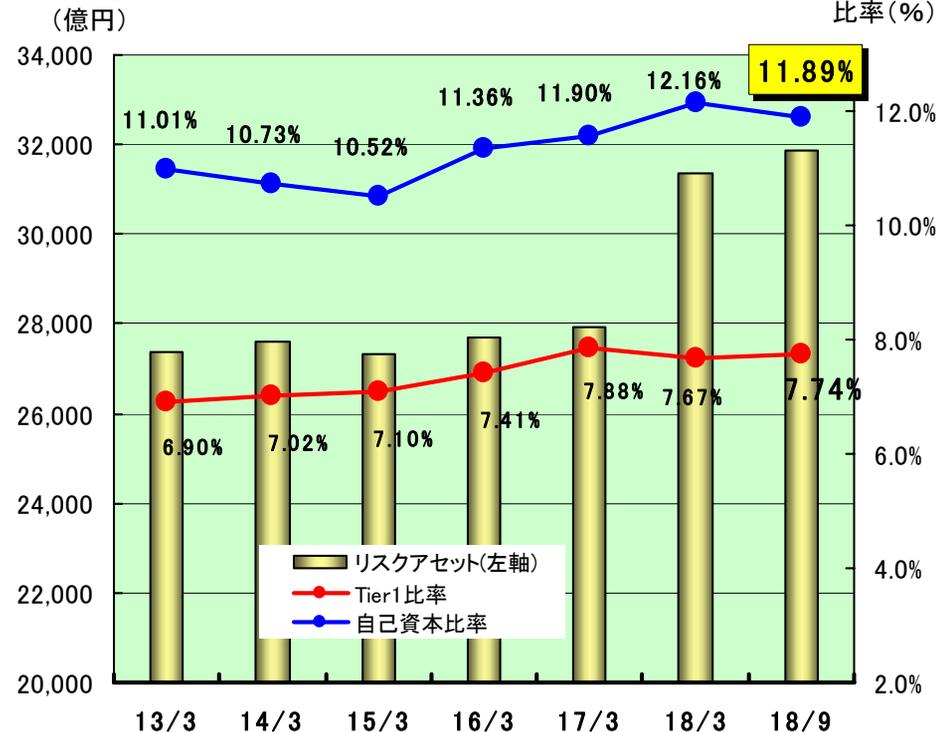
健全性指標は依然として高水準を維持

- ◇ 有価証券評価益は株価下落等により18/3比減少するも **1,920億円**と高水準
- ◇ 連結ベース自己資本比率(国際統一基準)についても **11.89%**と高水準を維持
- ◇ R&Iによる外部格付は「**AA-**」(安定的)

＜有価証券評価益の推移＞



リスクアセット 自己資本比率(連結)の推移



18年度（年間）業績予想



年間業績は、経常利益260億円、当期純利益170億円を見込む

（単位：百万円）

単体	18/3実績	19/3予想			19/3 当初計画	
			増減	増減率		当初計画比
経常収益	91,175	100,500	+ 9,325	+ 10.2%	94,000	+ 6,500
経常費用	61,196	74,500	+ 13,304	+ 21.7%	63,000	+ 11,500
経常利益	29,979	26,000	△ 3,979	△ 13.3%	31,000	△ 5,000
税引前当期純利益	31,470	27,000	△ 4,470	△ 14.2%	32,500	△ 5,500
当期純利益	19,361	17,000	△ 2,361	△ 12.2%	20,000	△ 3,000
業務純益	33,583	40,000	+ 6,417	+ 19.1%	36,500	+ 3,500
コア業務純益	33,674	35,500	+ 1,826	+ 5.4%	34,500	+ 1,000

連結	18/3実績	19/3予想			19/3 当初計画	
			増減	増減率		当初計画比
経常収益	106,823	116,500	+ 9,677	+ 9.1%	110,000	+ 6,500
経常利益	32,159	28,200	△ 3,959	△ 12.3%	33,500	△ 5,300
当期純利益	19,484	17,100	△ 2,384	△ 12.2%	20,100	△ 3,000